

保護者の皆様



賢明幼第18-092

2018年9月26日

賢明学院幼稚園

園長 中原 道夫

今月の聖句

これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。

(コロサイ3:14)

これらすべてとはなんでしょうか。

私たちはすでに神様から祝福され、良いとされて愛されている存在です。しかし、神様の願う人としての正しい生き方ではなく、自己中心的になり、人を罵ったり、私利私欲に埋没してしまいがちです。そんな時、ふり返ってみましょう。神様に愛されている存在として何が大切なのでしょう。

私たちは、深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着け直しましょう。互いに忍び合い、人に不満を抱くことがあっても、互いにゆるし合いましょう。また、感謝の心を持ち感謝を忘れない人になりましょう。

愛は人と人を結ぶ帯です。つまり「絆」として完全なものです。私たちは、言葉や行ないだけでなく、人と分かちあい、助け合って生きていくべきではないでしょうか。



感謝

賢明学院幼稚園

園長 中原道夫

二学期早々、関西地方に台風21号が上陸しました。皆さまの家に、大きな被害がなかったことは何よりでしたが、屋根瓦が飛ばされたり、車庫が大破したり、車が壊れたり、植木が倒れたり等、少なからず被害に遭われたと伺いました。停電は長い地域では数日間も続き、その間大変なご苦労だったと伺いました。台風21号の被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

幼稚園では、一階の窓ガラスが破損して、枠組みにゆがみが出ました。それほど猛威だったことが被害状況からわかります。駐車場の木々が倒れ、園庭の木々も枝が折れ、園舎裏の大きな松の木も根こそぎ倒れました。ようやく、平穏さを取り戻すことが出来ましたことをご報告させていただきます。台風一過の早朝から、早く幼稚園と学校の授業が再開できるようにと、教職員が総出で後片付けに奔走しました。いつになったら後片付けが終了するかと不安に思っていたところ、保護者の皆さまがご自宅の後片付けを早々に、学校に駆けつけて、倒木の後始末等を手伝って下さいました。午後には交通機関が十分回復していないにもかかわらず、ボランティアの高校生たちが登校し、人工芝と園庭に飛散した数百点にも及ぶ破損物や木の枝を片づけてくれました。おかげさまで一日の臨時休園だけで保育が無事に再開できましたことを、ご報告させていただきます。本当にありがとうございました。

今回の災害によって学んだことは、いかにして被害を小さくとどめるかということと、被災した際の生活力の重要性です。特に停電によって皆さまのLIFELINEの機能が止まるという体

験をした私たちは、停電でも生活できる術を、身に着けていかなければならないのではないのでしょうか。懐中電灯の明かりを、ペットボトルを用い、ランタン風に四方に光を拡散する方法や、戸外に避難したとき、必要とする火をどのようにして起こすかなどの技術。そして、被災時に必要とする知識や対応力として、被災時の避難方法や経路、避難時の持ち物など、今一度点検・確認することを怠らないようにしなければならぬと反省しました。ご家庭でも、避難時の持ち物と、置き場所が暗闇でもわかるように、蓄光テープを活用するなど、もうひと工夫の備えをお願いしたいと思います。

被災によって、貴重な体験も出来ました。被災の復旧作業は、一人ですることは難しいです。教職員だけでも、出来なかったと思います。こんなに早く復旧出来たのは、人と人の繋がりがあったからでしょう。人は人と繋がり、触れ合って生きているということを感じました。人は、たった一人では生きていくことが出来ない生き物ではないのでしょうか。一人ひとりが一番に身に着けなければならないこと、そして学ばなければならないことは、人と人がどうやって助け合い、どうやって分かち合うかということではないかと思います。自分だけが良ければ、いいのでしょうか。人よりたくさん物を持っていることが、幸せなのでしょうか。

今回の災害に際して、ご自分が被災にあつていながらも、学校のことを気遣って下さる近隣の方々、学校を心配して駆け付けて下さった保護者や業者の方々、また登校し、後片付けを手伝ってくれた児童や高校生、慰労の電話を下さった卒業生の方々など、学校も幼稚園も多くの人と人の繋がりによって生かされていることがよく理解できました。そして来年創立65周年を迎える賢明学院は、見えないけれどしっかり感じる心と心の「絆」によって、一つに結ばれていることが実感できました。賢明で学ぶ全ての子どもたちが、真の価値に気づき、キリスト者として、人としての道を、歩んでいってほしいと願っています。

- 10月のねらい
- ・友だちとともにいることを喜び、体を動かすことを楽しむ。
 - ・季節の移り変わりを感じ、身近な自然と触れ合う。

暑さが去り、活動と運動にとてもよい季節です。園でも外遊びを十分に取り入れた保育を進めていきます。

月の目標	満3歳	
		<ul style="list-style-type: none">・戸外で仲良く遊ぶ・身支度をすすんでおこなう
	年少	<ul style="list-style-type: none">・芋ほり遠足を通して、季節の移りわりを感じる。・移動動物園に参加し、さまざまな動物を知り、興味をもつ。
	年中	<ul style="list-style-type: none">・神様からいただいた、秋の実りに感謝する。・お祈りをすることで、心の静けさを知る。
	年長	<ul style="list-style-type: none">・自然の移りわりにより気づき、恵みに感謝する。・神様からいただいた力を存分に発揮し、意欲的に活動する。



冬制服調整期間 10月16日(火)～10月26日(金)

天候や体調に合わせて、各ご家庭で着用する制服の判断をしてください。

男児・女児ともにブレザー・ボレロも期間中は着用自由です。ただし男児はブラウスにネクタイをつけてください。

スポーツデー 10月12日(金)

賢明学院小学校の児童と一緒に学院リヴィエホールにて身体を動かし、運動することの楽しさや心地よさを味わいます。

保護者の方の参観はありません。HPにて子どもたちの様子を発信させていただきます。



**体操服登園 雨天決行です。
※活動的な1日です。
夏体操服着用をお願いします。**

日曜参観 10月14日(日) (後日詳細配布)

午前中の保育参観といたします。

当日は移動動物園が幼稚園園庭にやってきます。日頃、触れ合うことが少ない動物たちと楽しいひと時を過ごします。アレルギーがあるお子さまは事前に担任までご連絡ください。ご相談の上、対応いたします。

また、当日は子どもは冬スモックを着用いたします。

10月10日(水)までに持たせてください。園にて、預かります。

保育参観 各学年別日(後日詳細・予定表参照)

各学年別に保育参観日を設けております。後日、学年別に保育案を配布いたします。

満3歳・年少組 10月18日(木)

年中組 10月23日(火)

年長組 10月30日(火)

芋ほり遠足

10月25日(木)

秋の実りに感謝し、収穫することの喜びを味わいます。

行き先 : サバーファーム (富田林市)
登園時間 : 8:45 (予定)
集合 : 幼稚園 各保育室

※異年齢(縦割り)での活動をします。

大型バス2台に分かれて乗車し、出発します。

バス配車のため、見送りはできません。

朝は通常のドライブスルーのあと、駐車場より出庫してください。

9月 おつけものデーにご協力いただき、ありがとうございました

皆様からお預かりいたしました献金はチャイルド・ファンド・ジャパンを通じて送金させていただきました。

9月7日(金) おつけものデー ¥24,678



寄付金募集のお願い

創立100周年を迎えることができるミッションスクールとして、賢明学院に学ぶ子どもたちの明るく輝く未来に資するべく施設・学習環境の充実を図るとともに、時代の要請に応じた教育体制を整えてまいります。何卒、倍旧のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 寄付金募集および名称

- 名称 : 「60周年期成会寄付金」
- 募集期間 : 平成29年(2017年)9月1日~平成31年(2019年)8月31日
- 一口 : 個人1万円 法人3万円 ※一口以上の寄付は、口単位に縛られない
- 受付 : 各所属事務室(幼・小・中高)

2. 寄付方法の変更について

これまでのご寄付は園児、児童、生徒たちがより良い環境で学べるように活用してまいりました。今回は皆さまのご意思を反映させるべく目的別に募集することとし、下記の項目を設定しました。お申し込みの際にご選択ください。

- ① 中高人口芝補修
- ② 新校舎のための基金積み立て
- ③ 空調入れ替え(小学校・中高)
- ④ 照明のLED化・水銀灯のLED化(幼・小・中高)

※案内資料のご請求およびご寄付のお申し込みにつきましては、期成会事務局もしくは各所属事務室(幼・小・中高)までお問い合わせください。

期成会事務局 担当: 西村・高島

TEL: 072-241-2224